

地域住民の期待に応え長町歯科クリニックオープン！

長町病院附属歯科クリニック



歯科クリニック職員と応援のスタッフ

3.11 東日本大震災から 266 日目の 12 月 1 日、地域住民の期待に応え、長町病院附属歯科クリニック（所長山岸定男）が、震災の困難を乗り越えて、オープンしました。

同クリニックは地震で建物が全壊、この間、職員は古川民主病院歯科などに勤務先を移動して頑張ってきました。午前 9 時からの開所式では、テープカットの後、山岸所長の挨拶、長澤清光厚生協会専務、花木かよ子長町病院副事務長、川村三夫長町病院友の会会長が祝辞を述べました。

同クリニック（1992 年 10 月開設）の所在地は、太白区长町 1 丁目 6-9、仙台市地下鉄「長町 1 丁目」から僅か数秒という好立地にあります。震災前の場所からは、少し離れたましたが、新たな患者さんの利用が期待されます。

クリニックはしばらくの間、山岸所長、千田陽子、佐藤美枝、大友裕美の歯科医師 1 人、歯科衛生士 3 人の体制、診察ユニット 3 台でスタートします。当面、古川歯科から応援が入りますが、事務を配置しないで頑張るとの事でした。震災後、地域住民や宮城民医連職員の応援があつて、オープンしました。同クリニックの診療開始は、宮城民医連にとっての“希望”でもあります。職員みなで見守り、これからも応援をしていきましょう。

長町歯科の再起を誓い 多くの皆さんの支援を受けて開所



山岸所長

本日はお忙しい中、開所式にお集まりいただきありがとうございます。3月11日の大震災で、当歯科が閉所を余儀なくされてから9ヶ月。その長期間にわたってお待ちいただいた友の会の皆様、患者さまに感謝申し上げます。さらに日程厳しい中、本日このように立派な状態（建物）に仕上げた関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。また、閉所後、県北の大崎市古川まで通勤し、長町歯科の再起を誓い、この日まで歯を食いしばって頑張ってきた歯科職員並びに、その歯科の経営改善の糸口が見えるまで粘り強く待って頂いた法人理事会の皆様のご理解とご協力に感謝致します。そして何よりも今日の医療情勢について適切なアドバイスを頂いた長町病院管理部の皆様。皆様の貴重なアドバイスがあったからこそ、今日この地に再開する事ができました。そしてはかりきれない大勢の

皆様のご支援があったことをこの場を借りて感謝申し上げます。再開にあたっては最少人数のスタッフで取り組むこととなりますが、スタッフ一同力を合わせ、微力ながら地域、友の会の皆様の健康向上の一助となるよう努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。（山岸所長開所の挨拶より）



再開後、最初の患者さんを治療する山岸所長



仙台市地下鉄「長町 1 丁目」駅からすぐの長町歯科クリニック

2011年12月1日オープン

長町病院附属歯科クリニック
仙台市太白区长町 1 丁目 6-9
電話 022-308-2383 FAX022-308-2382

最初にクリニックを訪れた鈴木和子さん（75）亘理にお宅があり津波で半壊、近所では多くの方が亡くなられた。しばらくは避難所生活をしていた。入れ歯の具合が悪くて全然食べられない。20年近く長町歯科に通っていたがどこにも行かないで待っていた。今日再開するときいて、駆けつけてきたと話してくれた。



北海道から応援の石栗知佳さん

北海道勤労者歯科医療協会から応援に来てくれた石栗知佳さん（歯科衛生士）。北海道でも歯科のたし上げに関わってきた。「私でもできることがあったら応援したい」と駆けつけてくれた。